

# 災害時の対策は…



容器バルブを閉め、消防署員又は消火にあたる人に容器の位置を知らせ、後の処置を頼んでください。



ガス栓、器具栓を閉め(火をすべて消し)、二次災害防止のため、揺れが大きいときは、おさまった後で屋外の容器バルブも閉めてください。



容器バルブを閉め、容器が倒れたり流されたりしないか、しっかりと固定されているかを確認してください。

※電気のブレーカーも落としてください。

※異常があった場合は至急、LPガス販売店または保安機関へ氏名・住所・状況などをお知らせください。(連絡先は表紙に記載)

※再びガスを使うときは、必ずLPガス販売店または保安機関の点検を受けてからお使いください。



## 特に雪の多い地方の対策

### ◆雪囲いや容器収納庫の設置

雪により容器が埋まったり、屋根からの落雪で調整器や配管、メータなどがこわれるおそれがあるため、雪囲いや容器収納庫を設置してください。なお、雪囲いや容器収納庫のまわりは除雪してください。

### ◆排気筒(煙突)の補強

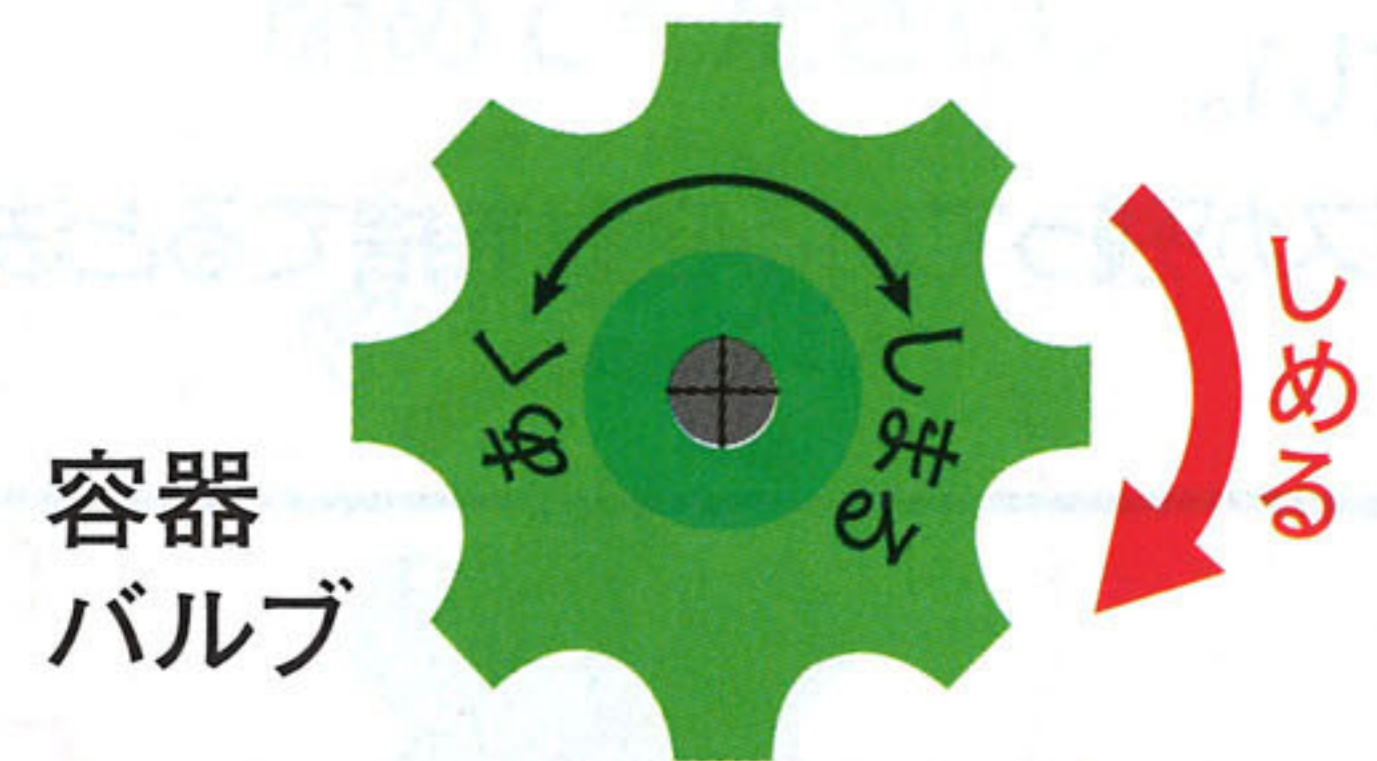
排気筒(煙突)は丈夫な支柱で補強してください。

### ◆雪おろし

雪おろしの際は、ガス設備に損傷を与えないように十分注意してください。

## 容器バルブの閉め方

災害のときに容器バルブを閉めることは、二次災害の防止にも役立ちます。容器バルブを閉めるときは、時計と同じ右に回すと閉まります。



## マイコンメータの復帰方法

復帰ボタンを押してすぐ離す。そして、約1分間待つ。

※ボタンにキャップのあるタイプもあります。

※ガス栓・器具栓を全て閉めて復帰ボタンを押してください。赤いランプと液晶が点滅します。

ガスもれがないかマイコンメータが安全確認を行いますので約1分間お待ちください。異常がなければ、赤いランプの点滅と液晶の文字が消えます。これで復帰が完了となりますので、開栓してお使いください。

(復帰しない場合は、復帰を繰り返さずLPガス販売店にご連絡し、点検を受けてください。)



## 災害にも強いLPガス

これまで地震などの大規模な災害時において、どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。その中でLPガスは復旧の早さや避難所などに対応してきたことなどから、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。このように、LPガスは「災害にも強い」ことが実証されています。